

<今日の説教のポイント ルカによる福音書3章1～20節>

洗礼者ヨハネの意味、あるいは彼の使命から聞き取るべきことは？

①神様によってイエス様と同時代に遣わされたヨハネ。その目的は？

4つの福音書は皆、バプテスマのヨハネがイエス様と同時代にこの世界に久しぶりに神様から遣わされた真の預言者であったことを告げようとしています。彼が人々の心をとらえたこと、そしてイエス様こそが救い主だと指摘したこと、これがここから私たちが聞くべきことです。

②洗礼の意味は？ 神様が設けられたもの！

そのヨハネが人々に洗礼を受けるように勧めました。ここで受洗準備の際にいつも強調してお話ししていることを言っておきます。洗礼は、初めからあったものではありません。神様がそれを設けて下さったから存在し出したものです。ヨハネの洗礼もそう。イエス様の洗礼もそう。まずこのこと自体の恵みをよく考えておかなければなりません。そういう神様がおられる恵みです。次に、二人の洗礼の違いに注目です。

③ヨハネの洗礼の特徴 — 人が倫理的に正しい者となることが先行。

ヨハネの洗礼は、それに与る条件として、倫理的に正しい道を歩む者となること、すなわち、神様が喜ばれる生き方をする者となることが強調されています。「罪の赦しを得させるための洗礼」(3)に与るのですから、分かる気がします。では、イエス様の洗礼は？

④イエス様の洗礼の特徴 — 神様が罪人を招いて下さることが先行！

ヨハネは、「イエス様は聖霊と火で(16)洗礼を授けられる」、と語っています。ペンテコステの出来事を思い出します(使徒言行録2章1-5節)。その現象の不思議より、内容の不思議(神の恵みの大きさ)に目を注ぐべきことをお話ししましたね。その点こそが、イエス様の洗礼の特徴に表れています。徴税人レビを召された時、イエス様はこう言われました、「私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである」(ルカ福音書5:32)。イエス様の洗礼のヨハネの洗礼との違いは、条件抜きでありのままで招いて下さる点です！この大きな恵みを知ったなら、神様が喜ばれない生き方のままではおれないでしょう。しかし、その時も、まず神様に感謝し、身の回りの小さなことから始め出していけばいいのです(ヨハネの答えもそう)。